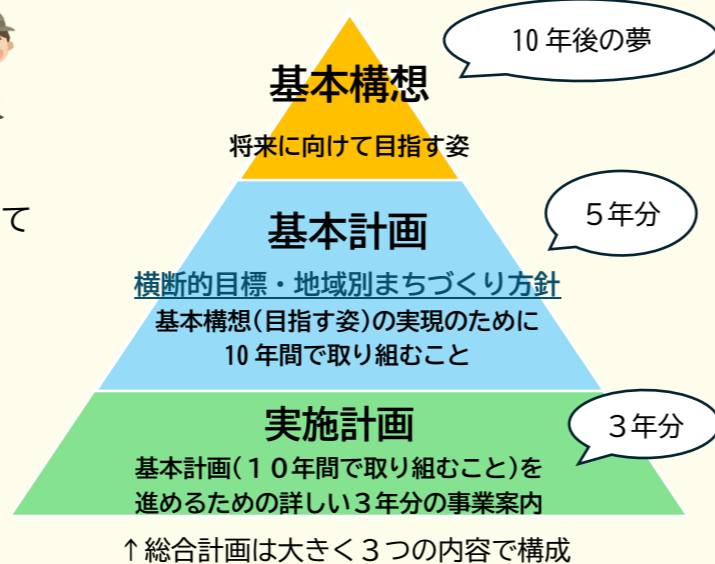


# 「大崎市のイメージを たくさんいただきました！」



『総合計画』ってなあに？  
大崎市の未来の設計図のことです。  
「これから10年くらいの間に、どんな大崎市にしていきたいか」「住みやすくするには何をすべきか」などを考えて、決める大きな計画です。

将来に向けて目指す市のすがたを定める「基本構想」、10年後の望ましい姿の実現に向けた主な取り組みを示す「基本計画」、具体的に実施する事業の内容を示す「実施計画」の3つで構成されます。



大崎市では、市の指針となっている「総合計画」の見直しにあたり、自分たちの住んでいる、生活している「大崎市」を、いつまでも元気で暮らしていけるまちにするため、将来を担う中学生の皆さんの代表生徒から、たくさんのアイデアや意見を聞かせていただきました。

## 代表生徒の皆さんの声

(令和7年7～9月 計13校(市内中学校11校、義務教育学校2校) 62名の皆さんへお聞きしました)

Q 大崎市の「ここがいいな」「自慢できるな」と思うところはどこですか？

自然が豊か、  
食べ物がおいしい！

Q 大崎市の「ここは困っている」「こうだったらいいのに」と思うところはどこですか？

遊ぶ場所や移動手段が  
少ない…

Q 大崎市で「こうありたい」「こう生きていきたい」と思うところはどこですか？

人の役に立つ  
仕事がしたい！



沢山のご意見ありがとうございました！

皆さんの声をもとに、総合計画をより良いものにしていきます！



## こんな意見ができました 中学生との意見交換の結果まとめ

「ここがいいな」「自慢できるな」や「ここは困っている」「こうだったらいいのに」と思うこと

強み	弱み
<p>①自然・景観の魅力 「自然が豊か」「景色がきれい」 ⇒自然や景観の評価がトップ。</p> <p>②「食・農」のブランド力 「お米がおいしい」「食べ物がおいしい」「米作りが盛ん」「(トマトなど)特産品がたくさんある」 ⇒米・食の豊かさ、農業が盛んであることが上位。</p> <p>③温かいコミュニティ 「地域の人優しい」「挨拶してくれる」 ⇒治安が良い、人が温かいなど地域に対する好意的な評価。</p> <p>④地域のイベント・祭り 「市内各地でオリジナルのイベント、祭りがある」 ⇒地元の祭り・イベントなどにプラスの評価。</p> <p>⑤地域資源の魅力 「鳴子温泉地域には温泉がある」 ⇒鳴子温泉は観光資源として高い知名度。</p>	<p>①余暇・遊び場の不足 「公園が少ない」「遊具が壊れている」「(屋内外の)遊ぶ場所が少ない」「大型ショッピングモールがない」 ⇒同世代が集まれる場所、娯楽・アミューズメントが少ない。休日の行き先が単調になりがち。</p> <p>②公共交通の利便性の不足 「移動手段(バス・電車)の本数が少ない」 ⇒公共交通が限られると、部活や塾の時間帯に間に合わない場面も。</p> <p>③道路等の維持管理 「通学路がでこぼこしている」 ⇒自転車・徒歩での通学路に段差・舗装の課題。</p> <p>④学習の場の不足 「勉強する場所がない」 ⇒静かに勉強できる場所の確保・整備を希望。</p> <p>⑤就職の選択肢が限られる 「興味がある職業がない」 ⇒市内での就職の選択肢が少ないと、将来は市外で暮らす可能性も。</p>

強み・弱みをきいたよ！

「こうありたい」「こう生きていきたい」と思うところ

将来や人生についてきいたよ！

働き方	暮らし方	生き方
<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなことを仕事にしたい</li> <li>人の役に立つ仕事がしたい</li> <li>やりがいのある仕事</li> <li>家でもできる仕事、自分らしく働ける仕事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して過ごせる地域になってほしい</li> <li>家族との時間を大切にしたい</li> <li>勉強に励む</li> <li>大崎市に住み続けたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションをとる</li> <li>情報に流されない</li> <li>様々なことにチャレンジ</li> <li>仕事と趣味の時間を両立させたい</li> <li>…など</li> </ul>

ずっと大崎市に住み続けたいですか

みんなはどう思う？

	人数(人)	割合
住み続けたい	13	21.0%
進学や就職などで大崎から一時的に離れるが戻ってきたい	37	59.7%
住み続けたくない	12	19.4%
合計	62	100.0%

※ 小数点第2位で四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

中学生では「進学や就職などで大崎から一時的に離れるが戻ってきたい」が約6割で最も多く、進学・就学で、一度は市外を出る前提で将来を考えている人が多いことがうかがえました。

お問い合わせ

大崎市役所市民協働推進部政策課  
電話：0229-23-2129 FAX：0229-23-2427  
E-mail：seisaku@city.osaki.miyagi.jp

